

切り取ってご利用ください

指定80周年 国立公園絵画展—自然×美術／観光

1934(昭和9)年に日本で初めて国立公園が指定されてから、今年で80年を迎えます。

これを記念し、当館が所蔵する国立公園絵画の中から、日光国立公園をはじめ、初指定となった9つの地域を描いた作品35点を展示します。

併せて、関連する資料も紹介しますので、国立公園の歴史とともに、日本の近代を代表する洋画家たちが描く美しい風景をお楽しみください。



やまもとかなえ 山本鼎作「秋の白馬岳」

会期：11月8日(土)～12月23日(火・祝)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(振替休日のときは開館し、その翌日を休館)

入館料：一般…720(300)円、大学生…510(200)円、

高校生以下…無料

※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



総合政策課 日光ブランド戦略室 ☎(21)5131

ダムカードをゲットしながら、ダムの紅葉を満喫しよう!

今月の日光ブランドは「鬼怒川上流ダム群(4つのダムとダム湖)・川俣瀬戸合峡」

国土交通省管理の鬼怒川上流ダム群は、鬼怒川や利根川下流域の治水と利水の役割を果たしており、ダム見学ツアーなど観光スポットとしても注目を集めています。

五十里ダム(五十里湖)は、江戸の日本橋から五十里(約200km)の距離に位置することからこの名が付けられました。川俣ダム(川俣湖)と川治ダム(八汐湖)は、アーチ式ダムで峡谷に張り出すように造られているため、ダムの頂上を歩くと、空中散歩しているような気分になります。湯西川ダム(湯西川湖)は、ダム湖遊覧クルージングなど楽しみが満載です。いずれも、秋には湖の深緑と紅葉の赤が鮮やかに対比し、神秘的な雰囲気になります。

も行っていきます。なお、市内ではこの他、県管理や東京電力管理のダムでもカードを配布しており、同一自治体で集められるダムカードの数は10枚で日本一。



川俣ダム

川俣瀬戸合峡は、川俣ダムの下流、約2kmに渡ってそびえる高さ100mの岸壁です。川俣ダムと平行する位置にある「渡らっしやい吊橋」からは、100m下の渓谷を見下ろすことができます。

進め! 地域おこし協力隊

くわしくは 地域振興課 地域振興係 ☎(21)5147

皆さんこんにちは。今回は栗山地域おこし協力隊の土屋が活動を紹介します。

現在、栗山そばに関する活動を行っています。標高が高い栗山地域では米が取れないため、昔からそば作りが行われていました。

栗山のそばは香り高くおいしいことで有名で、そば屋もたくさんあります。しかし、現在は鳥やサルなどによる鳥獣被害や高齢化により、そばを栽培する人がほとんどいない状況になっていました。

そこで今年の5月に「栗そば会」という住民参加の組織を立ち上げ、地域内の4地区でそば作りを始めました。

以前そば作りをしていて方ばかりではなく、畑作業になじみが無かった方まで、幅広い構成員となって



栗山のそば畑

います。その方たちの他、地域内外の多くの方の協力のもと、教えられ考えながら作業を進めてきました。会が立ち上がったてまだ日は浅いですが、地区や年代を超えた新しいつながりもでき、当初の予想を超えた活動になっています。その流れを大切に、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

地域おこし協力隊という名前ですが、地域の方に教えられる活動で、とても楽しく感じています。



休憩も大切な交流の場

連載 世界遺産 日光の社寺

教育委員会事務局 文化財課

日光市中央町15-4 ☎(30)1861

◆世界遺産と史跡指定 「世界唯一の価値」の前提条件には、「確実に保護を担保する適切な保護管理体制」も必要とされています。つまり、「真実性」と「完全性」の将来にわたる維持・強化が求められています。

これまで紹介してきたように、「日光の社寺」の建物は国宝・重要文化財に指定され、国の補助金を受け、社寺文化財保存会により修理が行われていますが、これでもまだ登録には不十分なのです。

「作業指針」の48段落に「現在不動産の遺産であっても、将来遺産となる可能性があるものの登録推薦は検討対象としない」とあるからです。難解な表現ですが「将来遺産になる可能性のある不動産」とは建物の移築を表しています。

すなわち、世界遺産の建造物はその土地と一体的に保護されていなければならぬということです。

土地を対象とした文化的な保護の手法はいくつかありますが、これまでの世界遺産で多く用いら

れていたものが国の史跡指定です。多くの文化財建造物が密集する山内地区が史跡指定を受けていなかったのは意外に思われるかもしれませんが、指定されれば原則、土地の変更が認められなくなり、必要な場合は文化庁の許可申請手続きが発生することから、土地所有者である「社一寺」はためらっていたのです。

しかし、世界遺産登録の必須条件であることから平成10年、指定に同意し、同年ユネスコに推薦書提出の運びとなり、翌平成11年12月2日に登録が決定されました。

このように、世界遺産に登録されるためには、多くの条件をクリアする必要があります。そして「世界唯一の価値」を有しているものがある以上、同じテーマの世界遺産はあり得ません。これが初回に説明した指定文化財との数の違いに表れています。

次回からは、「世界唯一の価値」の視点から日光の歴史を振り返っていききたいと思います。